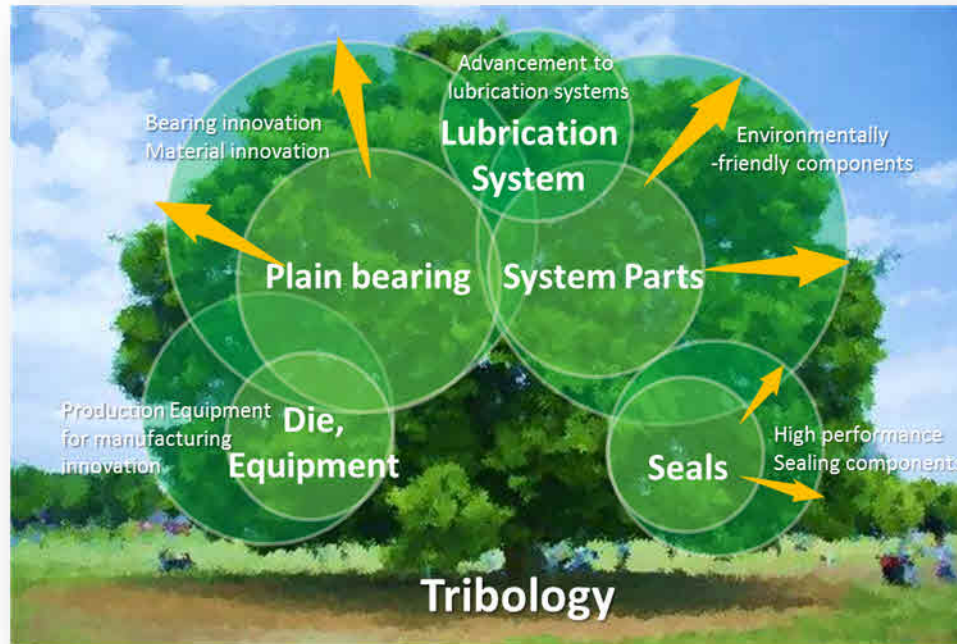


2019年3月期 第2四半期 決算説明会



2018年11月26日

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

目次

1. 2019年3月期 第2四半期実績
および通期業績予測

2. 第2四半期トピックス

2019年3月期 第2四半期 決算の概況 <連結>

(単位:億円 以下切り捨て)

	前年同期実績比				当初公表値比			これまでの 第2四半期 最高業績
	'19/3期 上期実績	'18/3期 上期実績	増減	増減率	'19/3期 上期公表値	増減	増減率	
売上高	564	571	△7	△1.3%	587	△22	△3.8%	571 ('18/3期)
営業利益	22	36	△13	△37.8%	29	△6	△20.8%	36 ('18/3期)
経常利益	22	37	△14	△39.0%	28	△5	△20.4%	37 ('18/3期)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	15	26	△10	△40.6%	19	△3	△15.8%	26 ('18/3期)
為替レート	110円/\$ 130円/€	111円/\$ 126円/€	-	-	105円/\$ 130円/€	-	-	

第2四半期の売上高としては過去2番目
前年同期比、公表値比ともに減収減益

第2四半期決算の概要

☆前年同期比

【売上高】 564億円 (△7.2億円、1.3%減)

<増収要因>

- 中国・アジア市場を中心としたすべり軸受の増、ガasket製品、システム製品の増(+18億円)

<減収要因>

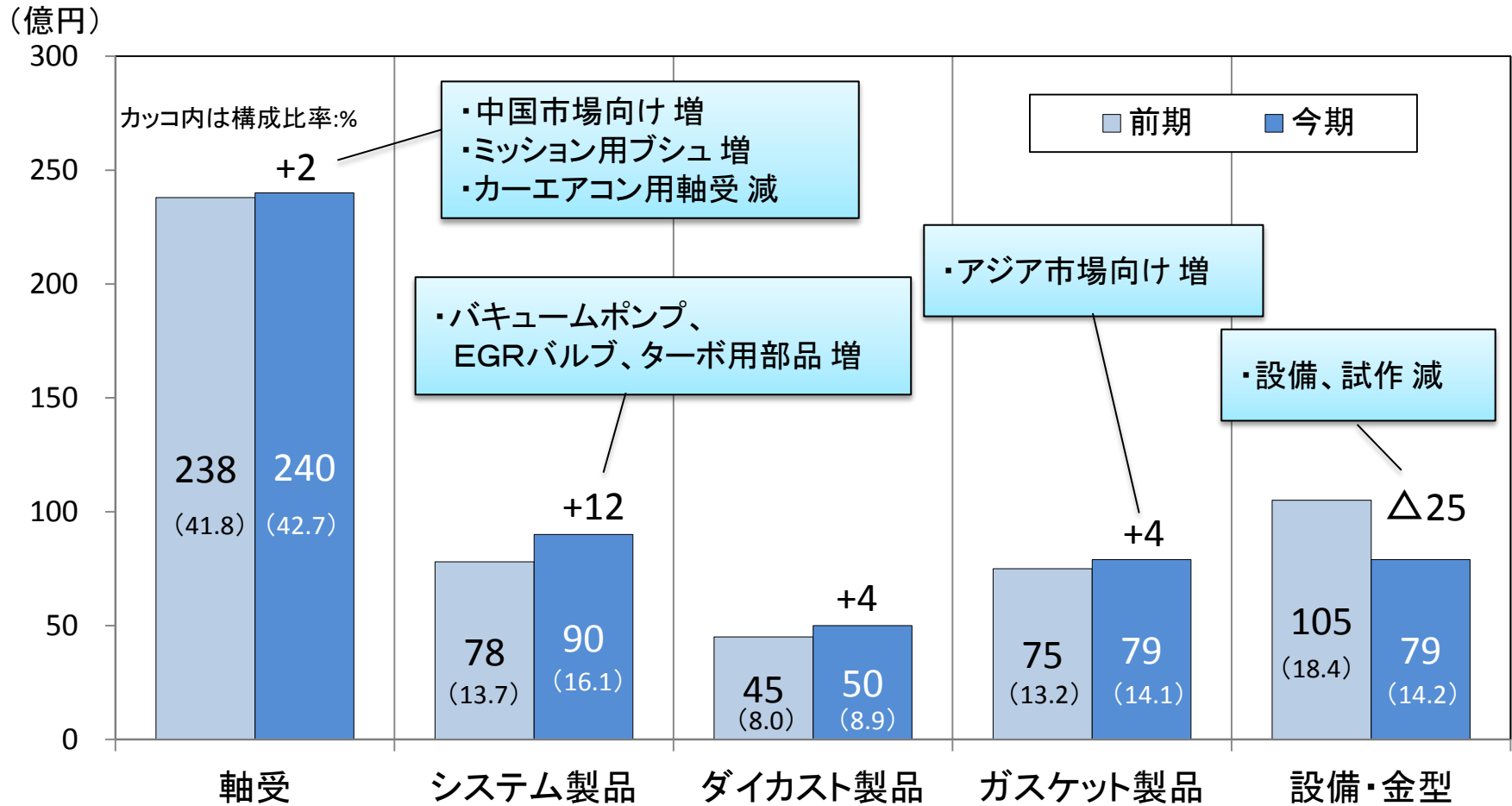
- 設備、試作の大幅な受注減(△25億円)

【営業利益】 22億円 (△13.9億円、37.8%減)

<減益要因>

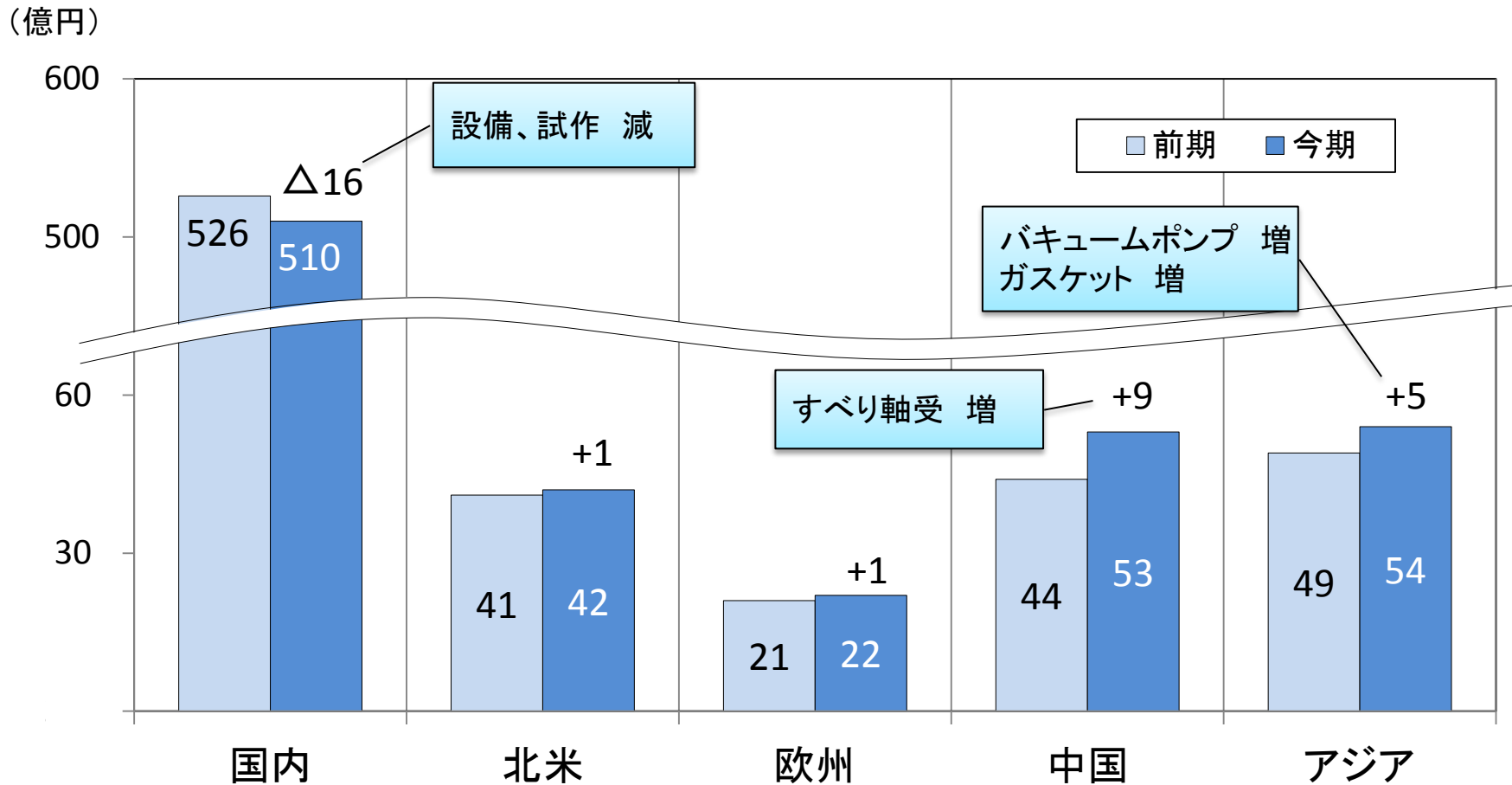
- 売上減による利益減
- 人員・ベアによる労務費増
- 原材料価格の高騰
- 販価改定

2019年3月期 第2四半期 製品別売上高 <連結>



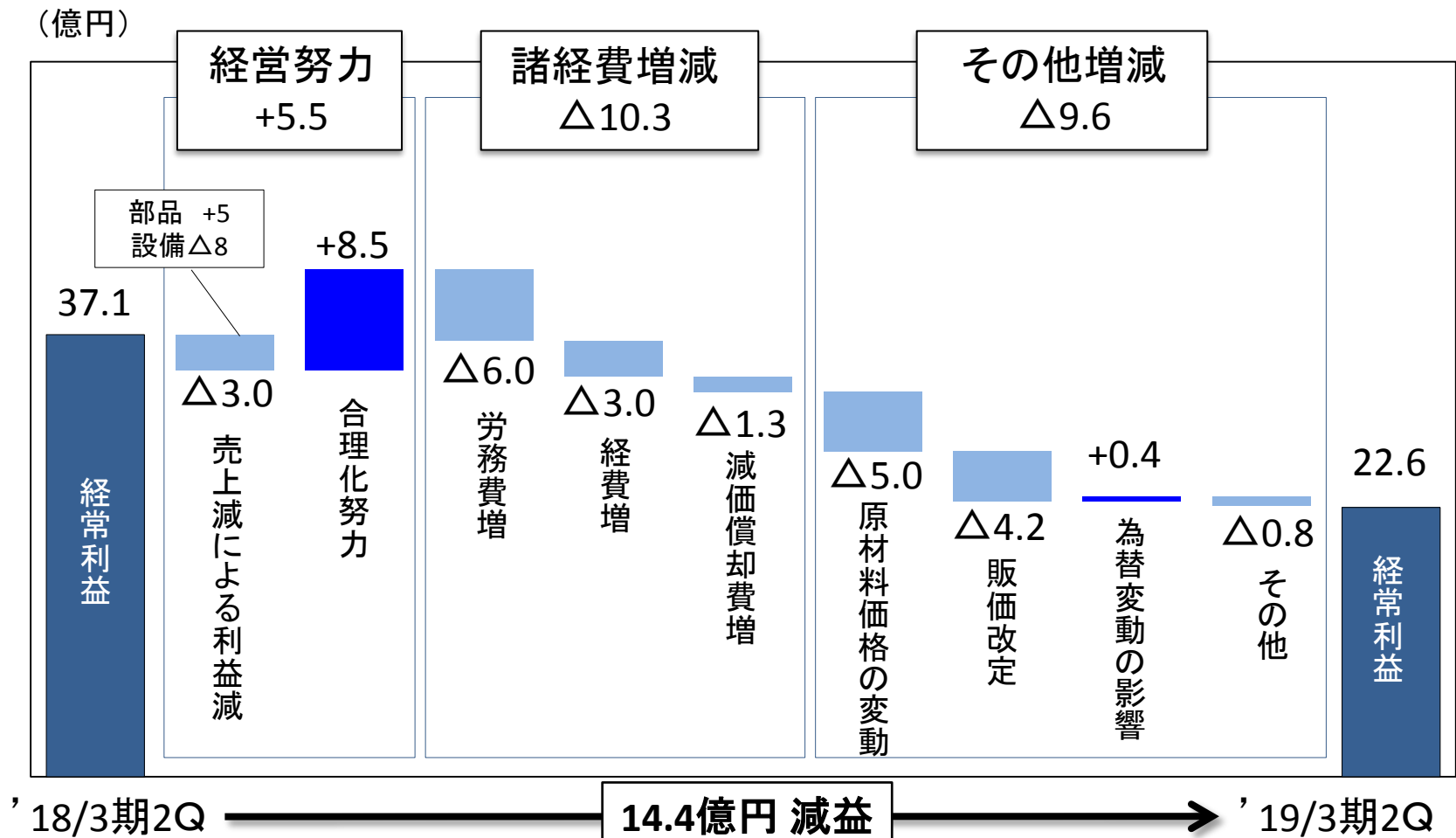
部品事業はそれぞれ堅調に増えているが、
設備・金型事業の大幅な受注減により、7億円の減収

2019年3月期 第2四半期地域別売上高 <連結消去前>



国内は設備、試作により減
海外は中国、アセアンを中心に部品事業が好調

経常利益増減要因(前期比) <連結>



- ・設備・金型事業の売上減による利益減
- ・グローバル生産量拡大による労務費の増
- ・原材料価格の増

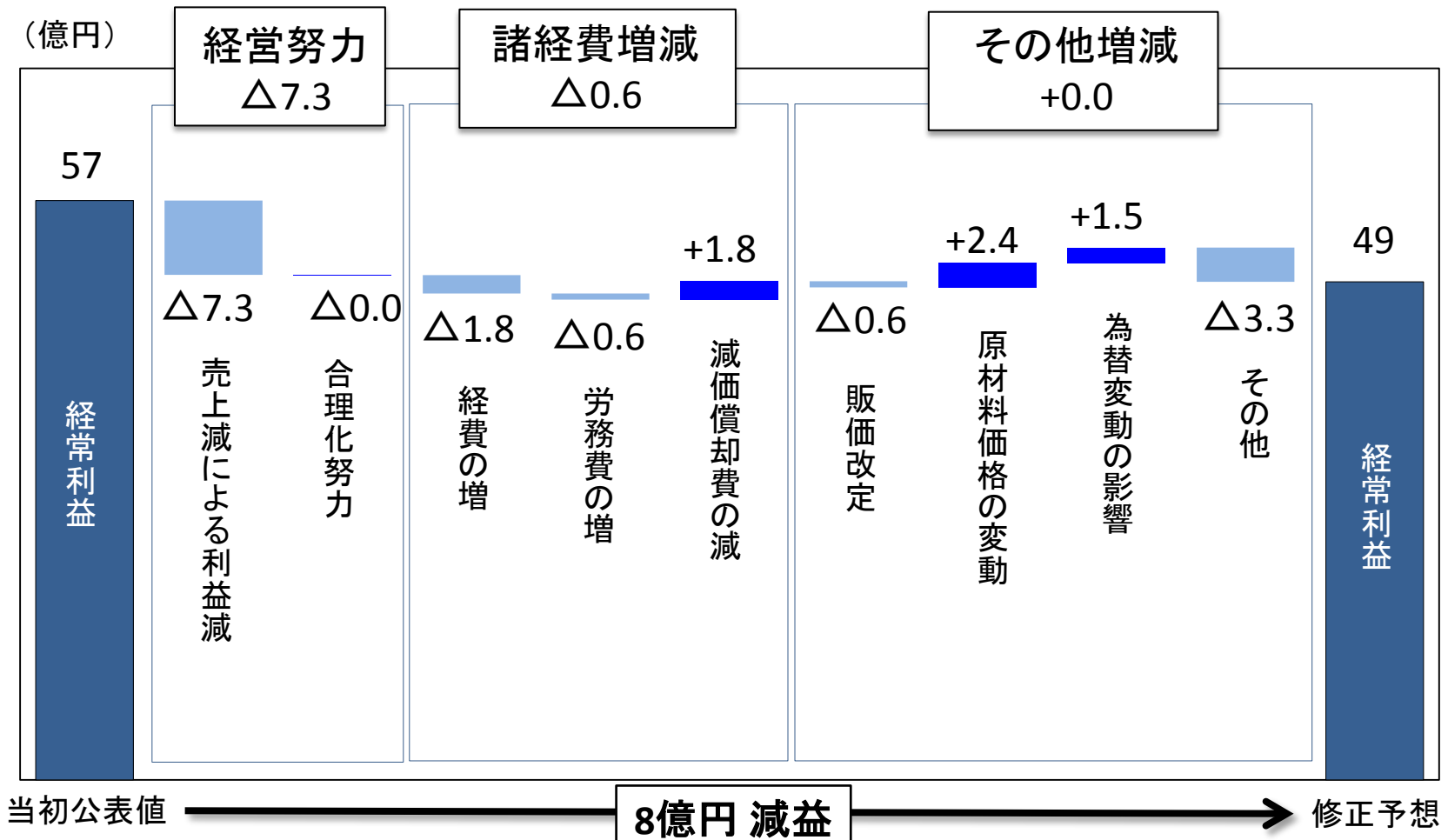
2019年3月期 通期業績予測 <連結>

(単位:億円 以下切り捨て)

	'18/3期 実績	通期予測 当初公表値比			
		'19/3期 当初公表値	'19/3期 修正予測	増減	増減率
売上高	1,146	1,150	1,130	△20	△17.0%
営業利益	68	58	50	△8	△13.8%
経常利益	67	57	49	△8	△14.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	42	40	33	△7	△17.5%
為替レート	110円/\$ 129円/€	105円/\$ 130円/€	110円/\$ 130円/€	—	

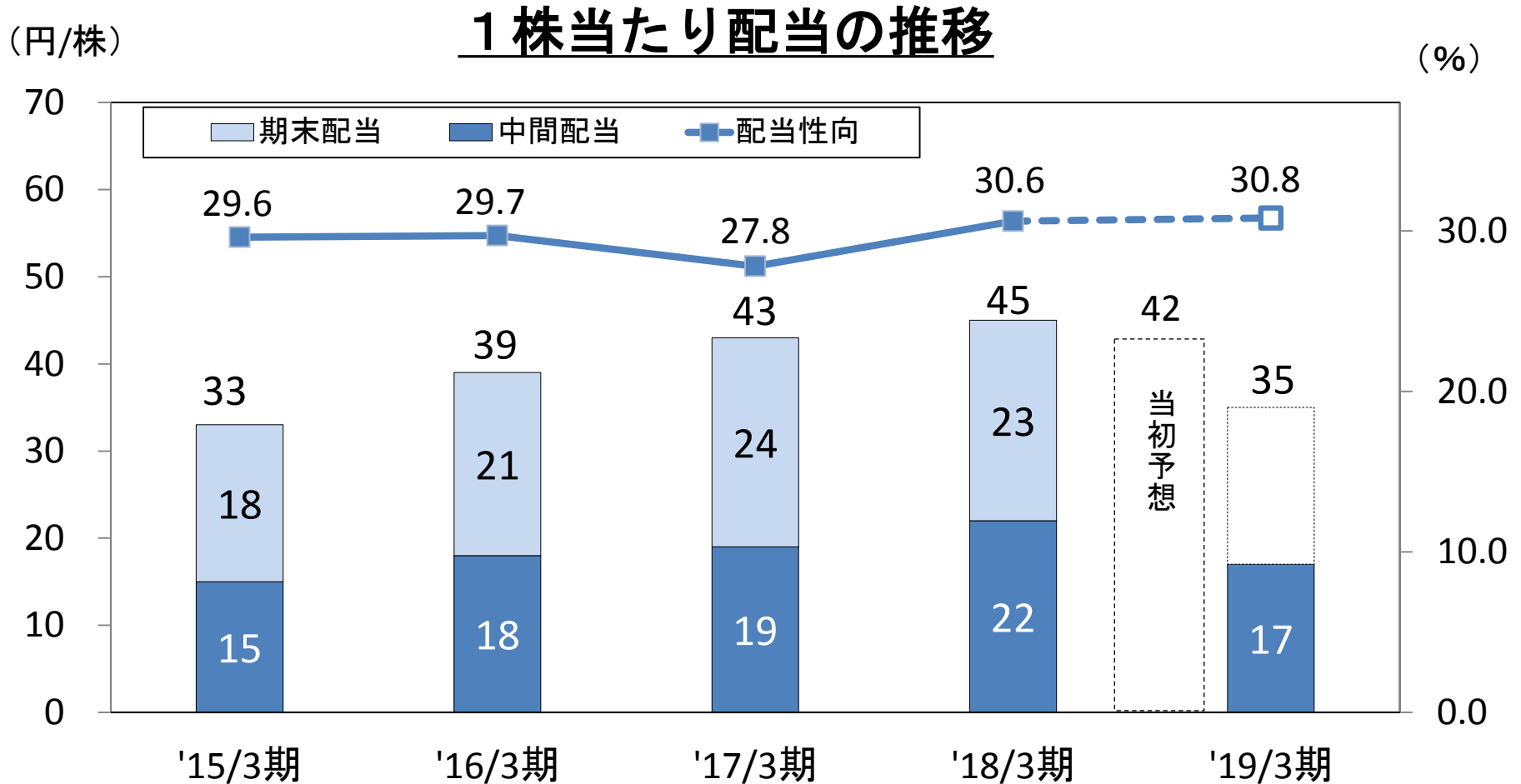
下期も設備・金型事業の挽回が難しいと予測し、
通期業績を下方修正

2019年3月期 通期 経常利益 増減要因予測(公表値比) <連結>



主に設備・金型事業の売上減による利益減で下方修正。
 下期収益確保に向け、各工場の原価低減強化および
 事技部門の経費削減活動を推進中。

株主還元



配当性向30%を維持し、長期安定的な配当で株主様へ還元していくが、
設備事業の動向を踏まえ、35円/株へ修正

目次

1. 2019年3月期 第2四半期実績
および通期業績予測

2. 第2四半期トピックス

お客様からの評価

- トヨタ自動車 プロジェクト表彰
カローラHB／オーリス 技術の部(6月)



新型カローラに搭載される
エンジン用軸受のスマート
軸受加工ラインが評価されて
トヨタ自動車よりプロジェクト
表彰を受賞

- GM Supplier Quality Excellence
Award(8月)



品質・性能の厳しい条件
を満たした優秀なサプ
ライヤーとして、GMより
受賞

- 日産自動車 優良品質感謝状(7月)



品質実績が指標
すべての目標を
達成したと評価され
受賞



ホイール用バランスウェイト



中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO

ご清聴ありがとうございました。